学校番号	１０１４

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	生活ケア演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・福祉や看護の現場でおこなわれている日常生活の援助について理解を深めましょう。
・実習をとおして、基本的な技術を習得しましょう。
・安心、安全、自立の３観点を意識するようにしましょう。
・グループやペアで連携、コミュニケーションをとり、より良い援助を考える習慣をつけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
人体の構造や機能を理解したうえで、適切な援助を行うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
安全・安楽に配慮し、患者にとって苦痛とならないような援助を意識することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
ひとつひとつの看護技術に興味・関心を深め、自ら学ぶ意欲を高めていく。
コミュニケーションを通して他者と協働することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人体の構造や機能について理解し、正常なはたらきについて理解をしている。 医療にかかわる基礎的・基本的な知識・技能を身につける。日常生活の援助における重要なポイントを理解し、実際に行動に移す。	基本的な知識・技能を活用して日常生活の援助における安全・安楽について考え、自分の考えを表現することができる。 ペーパーペイシェントを用いて、どのような援助を行うことが望ましいかを判断し、説明することができる。	さまざまな視点から物事をみて、向上心を持って授業や実習に取り組む。 他者との協働を意識し、相手とのコミュニケーションを意識して実習に参加することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	感染予防対策	感染経路について 感染予防技術	a：感染に関わる基本的な知識を理解することができる。感染予防に必要な技術を習得することができる。 b：感染予防対策が必要とされる場面を想定し、適切な行動を選択することができる。 c：感染予防を意識して行うことができる。	授業観察 小テスト	授業観察 小テスト レポート ノート提出	授業観察 レポート ノート提出
	体位変換・移動援助	基本の姿勢と体位 体位変換の方法 移動援助の方法 車いす援助	a：人体の姿勢について理解をすることができる。基本の姿勢を理解したうえで、体位変換・移動援助の技術を習得し、安全な援助を行うことができる。 b：麻痺や疾患を考慮し、安全・安楽な援助を行うために必要なことや注意点を自ら考え、意見することができる。 c：ペーパーペイシェントを用いて、他者とコミュニケーションをとり、最適な援助を考えようとする姿勢がみられる。	授業観察 定期考査	授業観察 課題提出 ノート提出 定期考査	授業観察 課題提出 ノート提出
後期	食事援助	嚥下のしくみ 食事援助の方法	a：食物の嚥下について理解するとともに、嚥下障害について理解することができる。 適切な食事援助を習得し、実施することができる。 b：病状や嚥下障害の状態に合わせて、患者に必要な援助を考えることができる。 c：食事援助において、積極的の参加し、さまざまな考え方、適切な技術を習得しようと前向きに取り組む姿がみられる。	授業観察 定期考査	授業観察 課題提出 ノート提出 定期考査	授業観察 課題提出 ノート提出

	レクリエーション	レクリエーション活動の考案と実施	a: レクリエーションの種類を知り、それぞれの特徴を理解することができる。計画したレクリエーションを実施することができる。 b: 与えられたテーマに対して適切だと思うレクリエーションを考え、計画書を作成することができる。 c: グループで役割分担し、協働してレクリエーションを行う。その際に、他者とのコミュニケーションを意識することができる。	授業観察 計画書提出 発表	授業観察 計画書提出 発表	授業観察 計画書提出 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度